

伊賀市地域公共交通計画（中間案）に対する地域部会意見整理

伊賀市地域公共交通計画中間案のパブリックコメント募集について、さらに深掘りを行うため6地域それぞれで地域部会を開催しました。議論した結果を踏まえて、伊賀市地域公共交通計画を策定していきます。

地域部会の実施概要

青山地域部会	実施日	令和8年6月17日（水）午後1時30分～午後2時00分
	開催場所	青山複合施設 会議室
	参加者	矢持住民自治協議会 会長 博要住民自治協議会 会長 高尾住民自治協議会 会長 上津地区住民自治協議会 会長 桐ヶ丘地区住民自治協議会 会長 阿保地区住民自治協議会 会長
いがまち地域部会	実施日	令和8年6月23日（火）午後2時00分～午後3時30分
	開催場所	西柘植地区市民センター 小会議室
	参加者	柘植地域まちづくり協議会 副会長 柘植地域区長代表 西柘植地域まちづくり協議会 会長 西柘植地域区長会 会長 壬生野地域まちづくり協議会 会長 壬生野地域区長会 会長
島ヶ原地域部会	実施日	令和8年6月26日（金）午前10時00分～午前11時00分
	開催場所	島ヶ原地区市民センター 研修室2
	参加者	島ヶ原地域まちづくり協議会 会長 島ヶ原地域まちづくり協議会 事務局長 島ヶ原地域まちづくり協議会 他4名
阿山地域部会	実施日	令和8年6月26日（金）午後1時30分～午後3時30分
	開催場所	阿山支所 会議室1・2
	参加者	河合地域住民自治協議会 会長 鞆田自治協議会 会長 玉滝地域まちづくり協議会 代表 丸柱地域まちづくり協議会 代表 伊賀市阿山地区民生委員児童委員協議会 会長 伊賀市社会福祉協議会地域支援課地域福祉コーディネーター 伊賀市商工会阿山支部 支部長
大山田地域部会	実施日	令和8年6月30日（火）午後1時30分～午後3時30分
	開催場所	大山田福祉センター ふれあい広場
	参加者	阿波地域住民自治協議会 会長 布引地域住民自治協議会 会長 山田地域住民自治協議会 会長 阿波地区区長会 会長 布引地区区長部会 部会長 山田地区区長会 会長 伊賀市大山田地区民生委員児童委員協議会 会長 伊賀市社会福祉協議会地域支援課地域福祉コーディネーター 伊賀市商工会大山田支所 支部長
上野地域部会	実施日	令和8年7月2日（木）午後7時00分～午後8時30分
	開催場所	市役所本庁舎4階 406 会議室
	参加者	中瀬地域住民自治協議会 会長 三田地区住民自治協議会 会長 上野西部地区住民自治協議会 会長 社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会 地域支援課 課長 伊賀市民生委員児童委員協議会 上野西部地区 会長 一般社団法人伊賀上野観光協会 事務局長

1. 伊賀市地域公共交通計画（中間案）に対する意見

意見の概要	市の考え方
①計画の考え方に関する意見	
上野市駅を中心とした公共交通ネットワークの形成は理解できるものの、高齢化の進展や商業施設・医療機関の移転により、上野市駅周辺が目的地としての機能を十分に果たしていない状況も見受けられるため、交通結節点のあり方を含めた検討が必要である。 【島ヶ原】，【上野】	本計画では、施策 15「交通結節機能の向上」に基づき、上野市駅をはじめとする交通結節点における乗継環境等の改善を推進するとともに、いただいたご意見を踏まえ、商業、医療、まちづくりなどの関係部局と連携しながら、交通結節点のあり方について検討を進めてまいります。
公共交通のみを対象とした計画ではなく、人口減少対策、企業誘致、観光振興、中心市街地活性化など、総合的なまちづくり政策と連携して進める必要がある。 【大山田】，【上野】	本計画は公共交通に関する施策を中心に取りまとめたものですが、上位計画や関連計画との整合を図りながら策定しております。
今後の人口減少や財政制約を踏まえ、限られた資源を有効活用しながら「生活難民」を生まないことを重視した計画とする必要がある。 【大山田】	本計画においても、公共交通サービスの持続性と利便性の確保に向けた取組を位置付けており、効率的な運行や関係者との連携により、地域の移動需要に対応してまいります。
介護タクシーや福祉タクシーについても、地域の移動手段として計画の中で明確に位置付けるべきである。 【阿山】	ご意見を踏まえまして、計画書 P.2 伊賀市内の公共交通手段に介護タクシーの名称を追記いたしました。
②地域特性の反映に関する意見	
鉄道が存在しない地域など、市内でも交通環境が大きく異なるため、市全体の方針だけでなく地域ごとの課題や特性を反映した施策展開が必要である。 【阿山】	本計画では、地域ごとの特性を踏まえた将来イメージを設定しており、各施策の推進にあたっては地域の実情に応じた施策展開を図ることとしております。特に、P.51 施策 6「地域の実情に応じた交通手段の検討」に基づき、地域の移動ニーズや交通環境に応じた交通手段の確保について検討を進めてまいります。
地域ごとに異なる運行形態が導入されているが、それぞれの地域ニーズに即した交通サービスとなっているか検証が必要である。 【島ヶ原】	- 本計画においては、P.51 施策 6「地域の実情に応じた交通手段の検討」を位置付けており、地域のニーズや利用状況を把握しながら、交通サービスのあり方について検討を進めることとしております。 - いただいたご意見は、各地域における交通サービスの検証や見直しを進める上での参考とさせていただきます。

意見の概要	市の考え方
③推進体制・住民参画に関する意見	
地域部会で出された意見がどのように協議会や計画へ反映されるのか分かりにくく、地域住民の意見を反映できる仕組みを強化する必要がある。【いがまち】	計画書 P. 65 に記載のとおり、地域部会で挙げられた意見については、伊賀市地域公共交通活性化再生協議会で報告・協議を行っております。ご意見を踏まえまして、より一層地域住民の意見を反映できる仕組みを検討いたします。
交通課題について継続的に議論できる場やプロジェクトチームを設置し、地域住民が主体となって検討を進められる体制づくりが必要である。【いがまち】，【阿山】	- 本計画では、P. 52 の施策 7 「公共交通を地域で守る仕組みづくり」を位置付けており、地域住民をはじめとする多様な関係者との連携・協働による公共交通の維持・確保に取り組むこととしております。 - いただいたご意見は、地域における継続的な協議や主体的な取組を推進する上での参考とし、公共交通を地域で支える仕組みづくりを進めてまいります。
地域福祉ネットワーク会議など既存の地域組織との連携を図りながら、地域の移動課題を解決していくことが重要である。【青山】	いただいたご意見を踏まえまして、既存の地域組織と連携しながら、公共交通を地域で守る仕組みづくりを構築していきます。
④施策の具体性・実効性に関する意見	
重点施策については、具体的なアクションプランや目標値、実施スケジュールを示しながら進める必要がある。【阿山】	- 本計画では、各施策の推進に向けて目標指標を設定するとともに、計画期間における取組の方向性を示しております。今後は、重点施策の実施にあたり、具体的な取組内容や進捗状況を確認しながら、効果的な事業推進に努めてまいります。 - いただいたご意見は、重点施策の実施・評価を行う上での参考とさせていただきます。
完成形を待つのではなく、実証運行や試験的な取組を行い、改善を重ねながら事業化を進めていくべきである。【阿山】	本計画においても、施策 6 「地域の実情に応じた交通手段の検討」や施策 20 「新たなモビリティサービスの積極導入」に際しては、実証的な取組等による検証を行いながら、必要に応じて改善を図り、事業化に向けた検討を進めてまいります。

意見の概要	市の考え方
人口減少や高齢化への対応は喫緊の課題であり、スピード感を持った施策推進が必要である。【島ヶ原】，【阿山】	本計画に位置付けた各施策については、関係者と連携しながら計画的に推進するとともに、P.67 の計画スケジュールにあります通り、継続的に評価を行い、実施状況や社会情勢の変化を踏まえながら、必要に応じて見直しや改善を図ってまいります。
PDCA による進捗管理を行うとともに、その結果を市民にも分かりやすく公表する必要がある。【大山田】	いただいたご意見は、進捗管理の結果を市民の皆様へ分かりやすく公表する方法を検討する上での参考とさせていただきます。
⑤計画の周知・情報発信に関する意見	
地域公共交通計画やパブリックコメントの実施について、市民への周知が十分ではなく、より積極的な情報発信が必要である。【上野】	- 本計画の推進にあたっては、地域部会等において地域の実情や課題について協議を行いながら施策を進めるとともに、計画の内容や取組状況について広く周知し、市民の皆様の理解促進に努めてまいります。 - いただいたご意見は、計画の周知・広報の充実及び継続的な情報発信の参考とさせていただきます。
計画策定後も継続的な情報発信を行い、市民理解の促進を図る必要がある。【上野】	いただいたご意見は、計画の周知・広報の充実及び継続的な情報発信の参考とさせていただきます。

2. 公共交通に対する要望

意見の概要	市の考え方
①高齢者の買い物・通院交通の確保	
・ 高齢化が進行する中で、買い物や通院など日常生活に必要な移動手段を確保するため、公共交通の利便性向上を図る必要がある。 【上野】	・ 本計画では、施策 18「高齢者等への移動支援の充実」を位置付けており、高齢者をはじめとする移動に配慮が必要な方々の利便性向上に向けた取組を推進することとしております。また、地域の実情や利用者ニーズを踏まえながら、日常生活を支える移動手段の確保に努めてまいります。 ・ いただいたご意見は、施策 18 を推進していく上での参考とし、高齢者等が利用しやすい公共交通の充実に向けて取り組んでまいります。
・ 商業施設や医療機関の移転により、高齢者の日常的な移動が困難になっていることから、交通施策とまちづくり施策を一体的に進める必要がある。 【上野】	・ いただいたご意見は、施策 18 を推進していく上での参考とし、高齢者等が利用しやすい公共交通の充実に向けて取り組んでまいります。
・ 買い物バスや移動販売など既存サービスも含めて、地域全体の移動支援施策を検討すべきである。 【いがまち】，【上野】	・ 本計画では、施策 6「地域の実情に応じた交通手段の検討」を位置付けており、地域ごとの移動ニーズや交通環境を踏まえながら、多様な主体と連携し、地域の実情に適した移動手段の確保に向けた検討を進めてまいります。 ・ いただいたご意見は、買い物支援や生活支援サービスとの連携を含め、地域の実情に応じた移動支援策を検討していく上での参考とさせていただきます。
②地域交通(デマンド交通・ライドシェア等)の充実	
・ 人口減少や運転手不足への対応として、デマンド交通や公共ライドシェアなど新しい移動手段を積極的に活用する必要がある。 【青山】，【阿山】	・ 本計画では、施策 20「新たなモビリティサービスの積極導入」を位置付けており、デマンド交通や公共ライドシェアなど、地域の実情や移動ニーズに応じた新たな移動手段の活用について検討・推進することとしております。 ・ いただいたご意見を踏まえ、将来にわたり持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に向けて、新たなモビリティサービスの導入・活用を推進してまいります。

意見の概要	市の考え方
玉滝線の廃止を見据えた代替交通の検討を早急に進める必要がある。【阿山】	本市においても、玉滝線の廃止を見据えた代替交通について庁内で検討を進めているところです。玉滝線の運行終了までに新たな交通サービスへの移行が図れるよう、令和11年の本格運行開始を目標として、地域の実情や利用ニーズを踏まえながら検討を進めてまいります。
将来的な交通空白への対応策として、自動運転技術の活用可能性を検討すべきである。【阿山】	いただいたご意見を踏まえ、将来にわたり持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に向けて、新たなモビリティサービスの導入・活用を推進してまいります。
③鉄道・幹線公共交通の維持と活性化	
- 伊賀鉄道、JR 関西本線、近鉄線などの幹線公共交通は地域の移動を支える重要なインフラであり、今後も維持・充実に取り組む必要がある。【島ヶ原】，【大山田】，【上野】	- 本計画では、施策1「伊賀鉄道の持続的な事業推進」及び施策3「JR 関西本線、草津線および近鉄大阪線のサービス維持」を位置付けており、関係事業者等と連携しながら、幹線公共交通の維持・確保に向けた取組を推進することとしております。 - いただいたご意見を踏まえ、地域公共交通ネットワークの基軸となる鉄道サービスの維持・充実に向けて、引き続き取り組んでまいります。
- 伊賀鉄道は通学や観光において重要な役割を担っているため、利用促進と維持に向けた取組を進める必要がある。【上野】	- 本計画では、施策1「伊賀鉄道の持続的な事業推進」を位置付けており、関係事業者等と連携しながら、幹線公共交通の維持・確保に向けた取組を推進することとしております。 - いただいたご意見を踏まえ、地域公共交通ネットワークの基軸となる鉄道サービスの維持・充実に向けて、引き続き取り組んでまいります。
観光列車や企画列車など、観光需要を取り込む施策を推進し、鉄道利用者の増加につなげるべきである。【上野】	- 本計画では、基本方針3「分かりやすく、便利な、利用につながる公共交通サービスの充実」を位置付けており、地域住民はもとより、観光客等の来訪者にとっても利用しやすい公共交通サービスの充実を図ることとしております。 - いただいたご意見を踏まえ、観光需要の取り込みにつながる取組についても関係者と連携しながら検討を進め、鉄道をはじめとする公共交通の利用促進に努めてまいります。

意見の概要	市の考え方
④しまタクの充実	
・ しまタクの運行エリアを拡大し、より広範囲の移動ニーズに対応してほしい。【島ヶ原】 ・ 土日や夜間についても利用できる運行体制を検討してほしい。【島ヶ原】 ・ 岡波総合病院など主要な医療機関へ直接移動できる仕組みを検討してほしい。【島ヶ原】	・ 本計画では、地域の実情や移動ニーズを踏まえた交通サービスの確保に取り組むこととしており、しまタクについても、地域のニーズに応じて法定協議会において運行エリアや運行内容等の検討を進めてまいります。 ・ 一方で、運行エリアの拡大や運行時間の延長等については、タクシー事業者との調整や運転手不足への対応、運営手法の整理などの課題もあることから、事業の持続可能性にも配慮しながら検討を進める必要があります。 ・ いただいたご意見は、今後のしまタクの運行内容や地域の移動支援策を検討する上での参考とさせていただきます。
・ 利用方法や導入効果について周知を強化し、さらなる利用促進につなげてほしい。【島ヶ原】	・ 本計画においても、施策 12「分かりやすい情報の発信」を推進することとしており、しまタクについても利用方法や運行内容等の周知に努めてまいります。
⑤通学交通の確保	
・ 霊山中学校開校に伴い、生徒の通学手段の確保を早急に進める必要がある。【いがまち】	・ 本計画では、地域の実情に応じた交通手段の確保や既存交通資源の活用を推進することとしており、行政バスやスクールバスについても、利用実態や地域ニーズを踏まえながら、効率的かつ効果的な運行のあり方を検討してまいります。 ・ いただいたご意見を踏まえ、霊山中学校開校後の通学環境に支障が生じないよう、地域の実情や利用ニーズを勘案しながら、必要な移動手段の確保に努めてまいります。
・ 行政バスやスクールバスのダイヤ・運行ルートを見直し、通学利用に対応できるようにすべきである。【いがまち】	・ いただいたご意見は、通学利用への対応を含め、行政バスやスクールバスの運行ルートやダイヤの見直しを検討する上での参考とさせていただきます。 ・

意見の概要	市の考え方
将来の利用者育成の観点からも、学生や若者が公共交通を利用する機会を増やす取組を進める必要がある。【いがまち】，【大山田】，【上野】	- 本計画では、施策 10「小・中学生や高校生を対象としたモビリティ・マネジメントの展開」を位置付けており、公共交通の役割や必要性について学ぶ機会の創出や、公共交通の利用促進につながる取組を推進することとしております。 - いただいたご意見を踏まえ、学生や若者が公共交通に親しみ、利用する機会を増やすことで、将来の利用者の育成につながる取組を進めてまいります。
⑥介護・福祉・買い物支援との連携	
公共交通のみで移動課題を解決することは難しく、医療・福祉・買い物支援などとの連携を図る必要がある。【上野】	本計画は公共交通に関する施策を中心に取りまとめたものですが、事業の推進に当たっては、医療・福祉・まちづくり等の関係部局と連携しながら、地域住民の移動手段の確保や利便性の向上に取り組んでまいります。
⑦自動運転等の新たな交通技術への期待	
運転手不足や交通空白の解消に向け、自動運転など新たな交通技術の導入可能性を積極的に研究・検討する必要があります。【阿山】	- 本計画では、施策 20「新たなモビリティサービスの積極導入」を位置付けており、自動運転をはじめとする新たな交通技術やモビリティサービスについて、技術動向や地域の実情を踏まえながら導入可能性の検討を進めることとしております。 - いただいたご意見を踏まえ、交通空白の解消や地域住民の移動利便性の向上に向けて、新たな交通技術の活用について研究・検討を進めてまいります。

3. その他意見

意見の概要	市の考え方
①人口減少・高齢化への危機感	
今後さらに人口減少と高齢化が進行することから、将来を見据えた持続可能な交通体系を構築する必要がある。【大山田】，【上野】	- 本計画では、地域公共交通ネットワークの維持・確保に加え、地域の実情に応じた交通手段の検討や新たなモビリティサービスの活用などを通じて、持続可能な交通体系の構築を目指しております。 - いただいたご意見を踏まえ、人口減少や高齢化などの社会情勢の変化に対応しながら、将来を見据えた持続可能な地域公共交通の確保に向けて取り組んでまいります。

意見の概要	市の考え方
②公共交通の利用促進・モビリティ・マネジメント	
公共交通は単なる移動手段ではなく、健康増進や環境負荷低減、地域インフラとしての役割を担っており、その価値を市民へ周知する必要がある。【上野】	本計画では、施策 10「小・中学生や高校生を対象としたモビリティ・マネジメントの展開」及び施策 11「市内事業所を対象としたモビリティ・マネジメントの展開」を位置付けており、これらの取組を通じて、公共交通の利用促進に加え、公共交通が持つ多面的な価値についても周知を図ってまいります。
小中高校生を対象としたモビリティ・マネジメントや乗り方教室などを継続的に実施し、公共交通利用の習慣づくりを進める必要がある。【大山田】，【上野】	本計画では、施策 10「小・中学生や高校生を対象としたモビリティ・マネジメントの展開」を位置付けており、モビリティ・マネジメントや乗り方教室などの取組を通じて、公共交通の役割や利用方法への理解促進を図るとともに、公共交通利用の習慣づくりにつながる取組を推進してまいります。
地域交通(タクシー)と鉄道を組み合わせることで公共交通全体の利用促進につなげることが重要である。【島ヶ原】	- 本計画では、鉄道を基軸とした公共交通ネットワークの維持・確保を図るとともに、地域交通であるタクシー等との連携により、交通結節点までのアクセス性向上や乗継利便性の向上に取り組むこととしております。 - いただいたご意見を踏まえ、タクシーを含めた地域交通と鉄道が相互に補完し合う交通体系の構築を進め、公共交通全体の利用促進につながる取組を推進してまいります。
③公共交通とまちづくり・観光振興との連携	
公共交通の維持・活性化のためには、観光振興や地域活性化と連携した取組が必要である。【大山田】，【上野】	本計画は公共交通に関する施策を中心に取りまとめたものですが、事業の推進に当たっては、観光やまちづくりなどの関係部局と連携しながら取り組むこととしております。また、地域住民のみならず、観光客等の来訪者にとっても利用しやすい公共交通サービスの充実を図り、公共交通の利用促進につなげてまいります。

意見の概要	市の考え方
観光客を呼び込むだけでなく、来訪者を受け入れるまちの環境整備も重要である。 【上野】	本計画では、地域住民はもとより、観光客等の来訪者にとっても分かりやすく、利用しやすい公共交通サービスの充実を図ることとしております。また、事業の推進に当たっては、観光やまちづくりなどの関係部局と連携しながら、公共交通の利用環境の向上に取り組んでまいります。
④歩行・自転車環境の改善	
公共交通の利用促進に加え、安全な歩道整備や自転車通行環境の改善を進める必要がある。 【いがまち】	本計画は公共交通に関する施策を中心にまとめたものですが、事業の推進に当たっては、道路管理やまちづくり等を所管する関係部局と連携しながら、公共交通の利用につながる移動環境の向上に取り組んでまいります。